



2010年9月

第183号

The Service Club of The YMCA  
**東京八王子 ワイズメンズクラブ**

会長 山本 英次  
副会長 並木 信一・茂木 稔  
書記 久保田 貞視  
会計 酢屋 善元  
外会長 並木 雍子  
直前会長 吉原 俊雄  
担当主事 井口 真  
プリテン 多河 敏子・茂木 稔・  
大久保 清・矢崎 文規

国際会長主題 藤井 寛敏 (東京江東) 「心新たに立ち上がろう」  
スローガン 「明日への橋を架けよう」  
アジア会長主題 高田一彦 (横浜) 「心新たに立ち上がろう」  
スローガン 「世界平和をワイズの手で」  
東日本区理事主題 松田 俊彦 (東京) 「豊かな奉仕! ~変化そして躍進」  
あずさ部部長主題 小山 憲彦 (東京サンライズ) 「継続こそ力」  
クラブ会長主題 山本 英次 (東京八王子) 「真摯さをもとにして、  
クラブに感動を与えよう」

**9月例会プログラム**

(担当: A 班)

(有海 小口 酢屋 瀬谷 仲田 中塚 長谷川 茂木 矢崎)

日時: 9月11日(土曜日) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階大会議室

受付: 中塚君 小口さん

司会: 長谷川さん

開会点鐘	山本会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジター紹介	会長
今月の聖句朗読・食前の感謝	矢崎君
会食	
卓話 「国際ユースコンボケーションに参加して」	
中大学Y 石井沙知さん 夏目亜衣さん	
連絡・報告事項	会長・各委員
スマイル	酢屋君
ハッピーバースデイ	山本会長
閉会点鐘	山本会長

**クラスター爆弾禁止条約発効を祝す**

眞野 範一

私たち八王子ワイズメンズクラブが長年支援してきた地雷/クラスター爆弾禁止運動が、又、一つ実りました。又、というのは2008年に対人地雷全面禁止条約(オタワ条約)が成立し、それに引き続いて8月1日にクラスター爆弾禁止条約(オスロ条約)が発効したからです。クラスター爆弾は空からかなりの範囲に地雷を散布するような爆弾ですから、地雷とクラスター爆弾を両方とも禁止しなければ、非戦闘員である一般市民が悲惨な被害を受けているのをなくすことは出来ないからです。地雷もクラスター爆弾も大量に保有する米国、ソ連、中国などの大国が参加しないのでは意味が無いという批判もありますが、

2008年に対人地雷全面禁止条約が成立して以来、新しく地雷を敷設する国は上記の諸大国を含め、ほとんど無く

先月の例会ポイント	BFポイント
在籍 22名	切手 今月 85g
メン 19名	累計 1030g
メイキャップ 0名	現金 0円
出席率 86%	累計 0円
メネット 6名	スマイル 11,554円
ゲスト 7名	累計 20,289円
ビジター 6名	オークション 0円
	累計 0円

聖句 「祝福されよ、主に信頼する人は、主がその人のよりどころとなられる。彼は水のほとりに植えられた木。水路のほとりに根を張り/暑さが襲うのを見ることなく/その葉は青々としている。干ばつの年にも憂いがなく/実を結ぶことをやめない。」  
(エレミヤ書17章7節~8節)

なり、地雷による新たな被害者も急速に減少してきました。何故なら、禁止条約に加盟していない国も国際世論に逆らって使用するには余程の説得力ある理由で 弁明しなければならぬからです。勿論、既に地雷によって既に障害者となられた被害者人々のケアは今後も続ける必要があります。

クラスター爆弾禁止条約でも同じような効果が期待できます。しかし、禁止条約が発効すると、条約加盟国は、①8年以内に保有するクラスター爆弾を廃棄すること、②10年以内に汚染された土地からクラスター爆弾を取り除くこと、③犠牲者たちの人権が守られ、彼らが自由に社会に出て行けるように犠牲者と汚染された地域を支援すること、などが義務づけられています。

各国の関係する NGO（日本では JCBL がクラスター兵器連合（CMC）に参加している）はそれぞれの政府が上記の内容を実際に履行するよう促し、監視していくことが今後の課題です。日本はオスロ条約署名国 108ヶ国（8月5日現在）の中で、14番目に批准し、条約発効に必要な30ヶ国の中に入ったことは誇らしいことです。7月31日現在で38ヶ国が批准して、8月1日にオスロ条約が正式に発効した。

オタワ条約の時にもたもたして30ヶ国の中に入れず、平和国家を標榜する国としては恥をかいたが、今回はその二の舞を舞わずにすんだわけです。紙面が限られているので、具体的な詳しいことは書けませんが、最新の情報は JCBL のホームページ<<http://www.icbl.org/>>や、”JCBL ニュースレター”で報告されていますのでご覧下さい。

私たち八王子ワイズメンズクラブは、直接に政府や国会議員に働きかけて来たわけではありません。しかし、それを実際に行っている JCBL を 1997 年以來 13 年間も支援してきており、寄付金の額は全体から見れば些少であっても、クラブのメンバー全員が参加して、街頭募金やチャリティコンサートを毎年継続してきたことで、JCBL の人たちの心の支えとして大きな寄与をしてきたと思います。

八王子ワイズメンズクラブは「平和を実現する人々は、幸いである」（マタイによる福音書 5 章 9 節）の人々であり続けたいと思います。（2010/08/26 記）

### 「浴衣で落語を楽しもう」

松本淑子

30分程前会場へ着くと、なにやらお囃子の調子のよい音が流れていて、盛り上がっていました。キッチンで浴衣又は着物に着がえた法政大落研の方々がむし暑い廊下で待機していました。橋本さんが上等な絹の客用座ぶとんを用意して下さいました。

先ず一年生の黒助さんの登場です。さわやかな語り口。登場人物は3人で声の変化がはっきりしていて面白かった。

次いで四年生の登場です。集まっている人等を見て即興で話を進めるのはさすがと思いました。「ここへ来る時普通の老人ホームの訪問と思っていたが、自分の席からみてお客さんは大体前の方に座っているが、ここではちょっと横を見ると学校時代のえらい校長先生が見て居られる様で緊張しています」（会長の山本さんを見て）

折しも当日は高校野球準決勝が行われている日でした。解説者が投手が笑いをたやさず今日も投げて欲しいと言っていました。笑いのある楽しさ、今日は若さと笑いをいただきとてもよい会でした。今度いつか女子の落研も聞きたいです。きっぷのよい男言葉いいですね。いつか中大と法大の落研をよろしくおねがいます。楽しい笑いの一時をととも enjoy しました。



吉原さん大久保さんに感謝



4年生・トリの登場

### 感謝会(2010年8月28日北野ファインにて)

橋本 秀昌

吉原前会長さんと大久保前メネット会長さんに対する感謝会が猛暑続きの8月28日午後5時30分より北野駅前にある“ファイン”で開催されました。

いつもの例会とちがい、ミニレストランでのワインを片手に食事しながらのとても楽しい感謝会だったと思います。女性の皆さんも感謝会にふさわしくドレッシーに見受けられたのは私だけだったのでしょうか。

ご事情で6月末にて退会された長田さん、調さん、林田さんにもお声を掛けたところすぐさま出席の返事を頂き、会をさらに盛り上げてくれました。

6月頃より担当班長として“高尾山ピヤガーデン”などを考えておりましたが、天候の事もあり、便利で集まりやすい、やはり北野に落ち着きました。出席者全員が一つになるには短時間でも、貸し切りが一番と考え交渉したらOK。当初は10周年記念パーティー時の楽しかった野菜ビンゴゲームを考えておりましたが、限られた時間内では無理と判断、早速、辻メネットさんをお願いしてアコーディオン伴奏での歌合戦となりました。

これがとても良かったと思います。何度も聞きなれた歌を参加者全員で歌うのは最高です。これで25人が完全に一つの輪に入れました。各班の歌合戦も良かったですねえー、みいちゃん、ろこちゃん、しんちゃん、に代えての“さっちゃんはね”も良かったですねえー、極め付きはみんなで肩を組みながらの“今日の日はさようなら”はもう云う事なし！久しぶりに歌う皆さんの姿を垣間見えていましたが、

両手でスイングしながら、あるいはテーブルを叩きながら、夫々が一番良き時を思い出しているかのような、そんな光景がとても素晴らしく、クラブメンバー全員にとって最高なひと時でした。この雰囲気は今後も皆さんと共に大切にしたいと思います。それこそが今の八王子クラブに求められているひとつではないかと思えます。

### 横浜国際大会準備委員として

長谷川 あや子

私は横浜国際大会準備委員会の一人として、特に田中事務局長のもとで働かせて頂きました。総務、広報、プログラム、会場、ファンド、ユースプログラム、交通、マーシャルなどの実働委員会がすでに活発に動いていました。受付業務担当として前日より泊り込み、1500人分の大会バッグの詰め合わせ、受付時の名札並べ、通訳機の貸出準備などのお手伝いを致しました。通訳機貸出リーダーとして連日カウンターに詰め、毎回名簿をチェックしながらの業務は想像以上に大変でしたが、係の方と協力し最終的に1台の不明も出さずにすべて回収することが出来ました。御園生（東京サンライズ）、矢崎、山本、久保田メネ、眞野、眞野メネの皆様には大会4日間を通してご協力頂きました。このチームワークがあったからこそ出来たお仕事でした。大会そのものは閉会式しか出られませんでしたが、ささやかながらお役に立てたという喜びと満足感を与えられました。

### 横浜国際大会「マーシャル」は羊飼いです

小口多津子

準備周到の国際大会は1281名（内、海外389名）の参加者でした。私は、マーシャルの仕事に応募して4日間貴重な、思い出に残る体験をさせて頂きました。3会場を歩き来たる大会なので要所での道案内、そして、会場外に散った方々を時間で入り口へ案内、2日目バス旅行での添乗員などに追われ、大会プログラムには落ち着いて座ることが出来ませんでしたが、閉会式だけは意図して参加しました。また80名近いマーシャルが7グループに分けられ、グループリーダーからのグループの携帯メールMLへの指示によって動きますが、散っていた仲間が即、集合できる今ならではの手法、さすがIT強しの奈良さんのシステムでした。最後に以下の文を引用します。「PIPワブレ氏が目撃した談話、大会中に気分が悪くなった人が出ました。その時、1分以内にマーシャルが一人来て、3分以内に3人、5分以内には医師3人が来て手当てを行った。すばらしい対応に感激されたそうです」。

フィンランドからの  
Reidun さんご夫妻



### 横浜国際大会に参加して

矢崎文規

日本で開催された久しぶりの国際大会、参加されたワイズメンの想いは様々であったと思います。私にとりましては多分、始で最後であろうとの想いで参加しました。会場はパシフィコ横浜、国際大会にふさわしい豪華な国立大ホール、また、横浜港の景観も最高でした。私は大会期間中、誠に小さな奉仕（単純作業と体力勝負）、笑顔で1日あたり500円の料金の、通訳機の貸出・回収業務に従事しました。今大会の約80%は日本東西ワイズの参加者でした。それだけに英語から日本語への通訳機は、大会を大いに盛り上げたもの思料します。大変な作業でしたが、利用者、貸与者双方の意思疎通が充分になされ、幸いなことにすべて回収され誠に感謝でした。やっと最終日の閉会セレモニーに落ち着いた気分で着席して大会の醍醐味を味わいました。この大会のキーワードは、基調講演をされた枝廣淳子さんの「アクションを起こすこと」ではないでしょうか。

### 国際大会初参加騒動報告

山本 英次

「翻訳機の貸し出し担当・責任者は長谷川さん」という田中事務局長さんの一声で今回の国際大会での私の役割は決定した。「担当者は、山本さん、矢崎さん、眞野さんご夫妻、久保田メネットさん、御園生さん」と呼ばれる度に、心配が増してくるのを感じた。大ホールでの共通語が英語となり、流石のY'sの方の中でも外国語アレルギーの方が多くて、延べ500台以上の貸し出しを行った。東西日本区別、所属部、クラブ名、番号と名前の照合作業で、初日は大混乱でありました。1日500円を徴収して、終了後には返却を確認する作業に、終日立ん棒で昼食も取れない有様でした。勿論、ホールの講演会には折を見て見学に行きましたが、責任者の長谷川さんは4日間休むことなく、カウンターの中で活躍して、無事1台の紛失もなく職務を全うされた事は称賛に値することでした。



初日の日本のお祭りの会場

### 横浜国際大会後のIBC昼食会

久保田貞視

8月8日正午に横浜国際大会が終了し、神戸学園都市の森会長の呼びかけで、パシフィコ横浜会議センター6階の「ベイブリッジカフェテリア」でIBCの高雄ポートクラブを囲んで合同懇親会を開催した。初めに久保田の挨拶、森会長の高雄ポートクラブとの10年間のIBC関係、山本会長の挨拶があり、山本会長は買入れた来年の台湾・アジア大会用Tシャツに高雄ポートクラブメンバーのサインを貰った。食事をしながら、挨拶を兼ねて全員が自己紹介をした。高雄ポートクラブのトム・チャンさん（現アジア地域IBC事業主任）からは台湾名物のお菓子を頂いた。楽しい交流会も高雄ポートクラブの帰国の時間の関係で14時には彼らを送り、来年のアジア大会でお会いしようという事で別れた。（出席者：高雄ポートクラブ・トム・チャン夫妻と息子、桂華さん、リンさん夫妻、ニーさん夫妻、神戸学園都市・森会長、杉本さん、藤井さん、大阪セントラル・林さん、八王子・山本会長、辻夫妻、矢崎、吉原、多河、小口、長谷川、久保田夫妻）



（東西日本区のエイズ対策への取り組みについて報告をされた久保田さん）

### 第69回横浜国際大会

吉原 俊雄

初めての国際大会パシフィコ横浜にて連日の猛暑の中4日間盛大に開催された。色々な言葉が飛び交え正にこれが国際大会だ。申込みでマーシャルを希望した。我がA班リーダー大中さんサブが吉原で7名の構成、毎朝9時各班が集合グラウンドマーシャルの指示説明で始まる。服装紺のTシャツ、白のズボン、手作りカン缶帽姿常に明るく笑顔で挨拶をした。朝は入口近辺で案内と前日のニュースを配る。夜は会場のイベント、食事等の案内、また必要に応じての応援等。大会中プログラム参加は持場交代で行う。マーシャルとして、沢山の外国人に話掛け、特にノルウェーの方と楽しく会話が出来ました。開会式の華やかさ、最後の日のユース報告、次期国際大会2012ノルウェーのアピール、新旧国際書記長挨拶、環境宣言、閉会挨拶、蛍の光、マーシャル全員壇上でグラウンドマーシャルの挨拶。最後にいっぞノルウェーをコールし無事終わる。私は体調悪くても思い出に残る良い経験でした

### 国際交流の夏

多河敏子

舞台裏での儀式進行係りの手伝いでした。マーシャルが軍隊用語から来ているのがちょっと気になりますが、話し手が壇の昇降の際手を貸すのは男性マーシャル、騎手が旗を渡すと支柱にさすのは別の班のマーシャルが、私は騎手が自席に戻る誘導をしました。“ようこそ”と声をかけると緊張がほぐれたような表情です。お願いしてメネットの集いにも行かせて貰いました。お手玉・折り紙・エコバック・お茶席・数独・文香等を内外の方が体験していました。売店で色々勧めたりしながら外国の参加者と話す機会も多くなり、ゆかた姿の写真を撮ってあげると添付で送ってと。辻さんは数十人の外国の人に着物を着せたので、傍で手伝いをしているうちに自分も帯を締める事が出来る気がしました。個人的には車をやめ、生ごみは肥培土と交ぜて土に還し野菜作り、今年は辛いけどクーラーは使わずの生活が正しかったかどうかお涼しくならないと分かりませんね。



## YMCA便り

### 「キャンプ場から」

主任主事 井口 真

夏は、子どもたちの夢の時間です。YMCAでは各地で様々なキャンプが開催されました。どのキャンプも子どもたちの笑顔と歓声にあふれたものでありました。そして感動に涙するリーダーたちの姿がありました。

リーダーは、5月からリーダー会を開き、リーダートレーニングに参加し、準備を進めてきます。初めて参加するリーダーは、子どもたちと夏を楽しみたいと思って、YMCAの門をたたきます。しかしボランティアは想像を超えて時間を奪われ、考えることも多く、責任の重いものであることに気がつきます。子どもと一緒にキャンプに参加するという事は、子どもの命を保護者からお預かりすることなのです。ただ楽しいだけではありません。

毎週1回ほどのペースで行われるリーダー会。そこに増し加わるリーダートレーニング。実技部分での宿泊リーダートレーニングは、参加費さえ徴収されます。こんなはずじゃなかった。そう思うリーダーもいることでしょう。

しかし、最初のキャンプを経験すると、その思いは変化していきます。子どもたちは不安でいっぱい自分を、心から信頼してくれる。自分から心を開いて接してくれる。そうした経験を経て、自分が認められるということを体験します。そうして自分もリーダーと呼ばれていいんだ、という喜びを感じるのです。リーダーは、そうした体験を重ねて、ボランティアってするものじゃなくて、させてもらうものだということに気づくのです。YMCAのボランティアは、やりたくてやっている、とよく言われます。それはこうした経験に裏打ちされているのです。

今年も、初めてリーダーになる人がたくさん参加しました。初めてのリーダーたちが、子どもたちに認められ、支えてくれる仲間を見出し、感動に涙するのを見て、経験リーダーたちも思いを新たにしていきます。「物より思い出」というコマーシャルがありました。YMCAでボランティアは、かたがえのない体験を手に入れています。

子どもたちの夢の時間。それを共有させてもらえるリーダー、ディレクターとは、なんと素敵なお立場なのではないでしょうか。

## 中大学Y便り

### 東ティモール・ユースキャンプ

五十嵐美徳

私は7月31日から8月10日まで、YMCA主宰のワークキャンプである、『東ティモール・ユースキャンプ～持続可能な開発と環境～』という海外プログラムに参加しました。今回のキャンプのテーマが主に環境問題の事だったので、東ティモールの抱えている様々な環境問題について、現地の方々と話し合いました。現在東ティモールでは、ゴミの分別や回収、焼却処理などのシステムが確立していない為に、ゴミがあちこちに散乱している状態です。実際、キャンプに参加していた東ティモールのユースの中にも、ペットボトルやタバコの吸い殻をそのまま道端に捨ててしまう人がいて、その事がディスカッションの議題に挙がる事もありました。日本人のユース達からも、どんなに環境問題の事について考えたとしても、実際にそこに住んでいる人達の行動が伴わなければ意味が無いという意見が出ました。そして、まずは“ゴミ箱にゴミを捨てる”、“ゴミの分別をする”等のような小さな事からでも、実際に行動に移す事が大事なのだという事を現地の方々の活動を通して学びました。また、東ティモールのプログラムに参加した事により、自分の抱えていた偏見に気づく事ができました。東ティモールはまだ独立して間もない国であり、政情や治安はまだ安定しているとは言えない国です。そのうえ、本やインターネットから得られる情報も限られていたので、キャンプに参加するまでは、とても不安な気持ちを抱えていました。しかし、現地に行き、実際にそこで生活を送ってみると、また違う視点で東ティモールという国を見つめる事ができるようになりました。確かに日本と比べれば不自由な事はたくさんありますが、そこに暮らしている人々はとても陽気で、生き生きと生活していました。私はそんな現地の方々の笑顔を見て、東ティモールという国に対して、あまり良くないイメージを抱いていた自分をとても恥ずかしく思いました。

私がこの東ティモールのプログラムに参加した理由は、日程や参加費等の条件によるものでしたが、今はこの東ティモールのプログラムを選んで良かったと心から思っています。改めて、自分は東ティモールで何を考え、何を感じたのかを見つめ直し、これからの活動に繋げていきたいと思えます。

### (お話)

知らない方から、長い間送っていただいている「生命の光」という冊子8・9月合併号に取り上げられていたのを拝借した聖句です。「キリストの幕屋」と称する集会で出されています。いつの間にかこの集会の多くの方とお知り合いになりました。大変良く勉強されていらっしゃる方が多く、特にイスラエルで学び、本格的にヘブライ大学などで研鑽されたりして、ヘブライ語に堪能で、ユダヤ教に通じていらっしゃる方が沢山いて、いろいろ学ばせていただいています。

キリスト教はいうまでもなくイスラエルで誕生し、イエスもユダヤ人でしたので、その言行には当然現地の伝統や慣行が反映されています。ですからいやでもイスラエルの多面的な社会・文化事情を知ることが、聖書や信仰をより深く理解する上で不可欠です。

この聖句はきわめてイスラエルの自然を背景として書かれています。水の切実な大切さは、主の大切さにたとえられるほどだという気持ちはお分かりでしょうか。

スエルの知人から、空気と水と安全を日本人はただだと思っているようですねと言われたのを思い出します。本当に大切なものについて意外と無神経になっているものです。酷暑にめげずお元気で。 仲田達男

報 告

ボランティア活動

◎2010年8月14日(土) 第一例会  
 北野事務所 2階大会議室(18:00~20:00)  
 小山憲彦あずさ部長公式訪問  
 卓話:法政大学落語研究会(大西・豊島・永井の皆さん)  
 ・甲府21納涼例会出席者(久保田・福田・山本)  
 ・YMCAチャリティーランの協力者(長谷川・吉原)  
 ・東京武蔵野多摩クラブとの合同例会(林会長・山本会長で相談する。)8月23日午後6時30分から国立にて9月か10月第一例会にしたい。テーマはEMC事業部提案のクラブシンキングデイとしたい(会長)  
 ・あずさ部地域奉仕事業と省エネキャンペーンへの賛同の為の「柏崎・刈羽原発バスツアー」を計画(あずさ部長)  
 10月16日(土) JR八王子駅南口8:00分集合  
 ・長野クラブ設立総会は10月2日 夢街道歩き(10月2日)参加者募集  
 ・富士山例会(9月25日)出席者(山本・並木・久保田・久保田メネット・長谷川・吉原)  
 ・2011年3月19日のチャリティーコンサートは、三塚ご夫妻の出演が決定  
 ・IBC・DBC(神戸学園都市クラブも加わりたいとの要望がある:国際大会のあと昼食を共にした)  
 ・ユースボランティアリーダーズフォーラムへの出席希望者は会長まで  
 ・クラブ2000P委員に酢屋さん・矢崎さんが加わる  
 ・インドスタディーキャンプの中大学Y参加者に2万円贈る事に決定  
 ・スマイルは11,554円でした。  
 出席者  
 ビジター:小山部長・小山メン・柴田書記・原会計・宮内(武蔵野多摩)前田(山手)  
 ゲスト:法政大(大西・豊島・永井)中大学Y(岸田薫)多河友人(竹内シノブ 宇田順子)橋本友人(前原啓伺)八王子クラブメン:酢屋・瀬谷・長谷川・中塚・茂木 辻・眞野・並木・久保田・松本(大)・福田・山本・松本(淑)多河・大久保・橋本  
 メネット:大久保・久保田・辻・眞野・並木  
 合計34名の皆さん

・東日本区「環境キャンペーン2010夏」(地域奉仕事業委員会)電気使用量の報告  
 8・9・10月分の集計のお願い・・・よろしくお願ひします。

\*老人デイサービスセンター 鎌水\*

【報告】

- ◇ 手工芸  
 8月24日(火) 13:45~14:45  
 参加者:赤羽・昆・下重・辻・山口・山中・茂木の皆さん
- ◇ ペーパーフラワー  
 8月30日(月) 13:45~14:45  
 参加者:石井・久保田・昆・下重・辻・山口・山中・茂木の皆さん

【予定】

- 9月13日(月) ペーパーフラワー 13:30~14:45
- 9月28日(火) 手工芸 13:30~14:45

BF報告

切手収集 累計 国内910g 外国120g  
 8月分 久保田85g  
 プルタブ収集 累計 2,825g  
 8月分 なし

◎2010年8月28日(土) 感謝会

北野駅北口前 ファインにて 17:30~19:30  
 感謝会の様子については橋本C班班長により、9月号ブリテン2ページに掲載してもらいました。  
 (感謝会出席者) 有海・大久保・大久保メネ・小口・久保田・久保田メネ・酢屋・多河・辻・辻メネ・中塚・橋本・橋本メネ・長谷川・福田・松本(淑)・松本(大)・眞野・茂木・山本・吉原・長田・調・林田の24名の皆さん

9月以降の予定

- ◎強調月間 ユース(10~12日迄ユースボランティアリーダーズフォーラム:山中湖)見学者募集・会長へ
- 9月11日(土) 第一例会
- 9月19日:あずさ夢街道あるき番外編
- 9月23日:YMCAチャリティーラン(代々木公園)
- 9月25・26日富士山例会

10月の卓話者紹介

10月第一例会(10/9・土)の卓話者  
 市民活動支援センター:春田センター長  
 卓話題名:「市民活動で・八王子元気」  
 内容:市民活動とは何かからはじまり、八王子における市民活動(主としてボランティア)の実態について。

今月の誕生日



- 9月20日 大久保 清さん
- 9月12日 大久保 重子さん
- 9月22日 仲田 達男さん